



ユイといやしの里

スポーツ愛ランド

2023

No.533 令和5年

3

広報

あまぎ



3年ぶりの開催！ 奄美トレイルウォーク。。。15P

撮影場所：犬の門蓋メガネ岩

令和5年度施政方針

令和5年第1回天城町議会定例会が3月7日に開会し、森田弘光町長が令和5年度の町政運営について施政方針演説を行いました。その全文を掲載します。

はじめに

本日、令和5年第1回天城町議会定例会が開催されるにあたり、町政運営の基本方針と施策の概要をはじめ、町政運営の基本となる令和5年度予算案を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

昨年12月に実施されました町長選挙におきまして、町民の皆様の信任を賜り、引き続き2期目の町政運営の舵取りを担うこととなりました。改めて、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

1期目を振り返りますと、まさしく新型コロナウイルスに翻弄された日々ございました。そのような中、「住んでよかった。暮らし満足度NO.1のまち」を目指し、第6次天城町総合振興計画（AMAG I・VISION）の策定や町制施行60周年関連事業の実施、子育てしやすい環境づくりなど新たな時

代に向けた町づくりを着実に進めることが出来たものと考えております。

新型コロナウイルスにつきまして、国内での発生から3年が経過し、国においては感染症法上の位置付けを「2類相当」から「5類」に引き下げることが表明されました。しかしながら、本町においても依然として感染者が発生するなど、終息が見通せない状況にございます。引き続き、関係機関との連携を図り、町民の健康と安心安全な暮らしを守ってまいります。新型コロナウイルスと対峙し、町民の日々の生活を支えていただいております医療関係者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆様

に、改めて感謝と御礼を申し上げます。

昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻により、人類全体が揺れ動く時代のなか、改めて平和な日々の生活が、いかに尊いものであるかを実感いたします。本年は、奄美群島日本復帰70周年の節目の年とな

ります。また、復興からこれまでの道のりを支えてきた奄美群島復興開発特別措置法の期限切れを迎え、その延長に向けた重要な年ともなります。先人たちが苦難の末に築き上げてきた、今日の平和な暮らしを守り抜くとともに、次世代を見据えた町づくりが私たちに課せられた責務でもあります。その町づくりの羅針盤となるAMAG I・VISIONに基づき、私は大きく6つの項目を町民の皆様と約束いたしました。

1. 平土野港多機能港湾新設の実現
2. 農業・水産業の持続的発展による経済の活性化・所得向上
3. 子どもから高齢者までみんなが健康の町
4. 将来の天城町を託せる人材の教育
5. 世界に誇れる文化・自然の継承
6. 地方創生の推進と均衡のとれた町土の形成

これらの主要政策を重点的に推進し「住んでよかった。暮らし満足度NO.1のまち」を真に実現するために、本年も全身全霊で町政運営に取り組んでまいります。

本年は「JUMP!! 新たな出発から飛躍の年へ、そしてその先へ」をスローガンに掲げ、私のモットーであります「先ず隗より始めよ（率先垂範）」「スピード感を持って対応」「必ず記録・メモをとろう」を職員と共有し、「変化を恐れず動き出す」ことを常に意識しながら町民サービスの更なる向上に努めてまいります。

「天城町の心はていーち」。心を二つにして、共にがんばりましょう。

以下、重要施策につきまして説明申し上げます。

1 安定した雇用を創出する

(1) 農業・水産業の持続的発展による経済の活性化及び所得の向上

農家の皆様のためまぬ努力により、令和3年度の農業粗生産額は、3次天城町農業ビジョンで掲げた目標額45億円を上回る47億5千5百万円を達成することができました。本町農業の力強さ

を改めて感じたところでございます。

また、昨年10月に開催されました全国和牛能力共進会において、鹿児島県が前回大会に続き和牛日本一の栄冠に輝きました。鹿児島県代表出品牛には徳之島で生産された牛が首席獲得に貢献し、農家にとりまして自信と希望に繋がる大会となりました。

今後も継続して45億円を達成できるように「楽しい農で目指せ楽農!! 目指せ45億!!」をスローガンに農業の振興を図ってまいります。

農業を取り巻く環境は、コロナ禍による影響が長期化し、世界的な物流の混乱やロシアのウクライナ侵攻を背景に、燃油や肥料・飼料等生産資材の高騰など、新たな課題に直面しています。国と県におきましては令和4年度に肥料価格高騰に対する緊急支援事業が行われ、本町におきましても、地方創生臨時交付金を活用し、農業資材や燃油購入に使えるクーポン券による支援を行ったところでございます。

肥料価格の高騰は今後も続くことが予想されており、生産力向上と持続性の両立を目指し、有機肥料の活用や施肥体系の見直しによる環境と調和した農業に取り組んでまいります。

経営の安定化を図るため、経営育成や農業法人化の推進、青色申告会及び収入保険制度への加入促進を進めてまいります。また、農業センター研修生制度や指導農業士による指導等を通じて、新規就農者や地域を担う人材への支援を行うてまいります。併せて、女性の農業参画や農福連携など、地域農業を支える人材の確保に努めてまいります。

人・農地プランが法定化され、地域計画を定めることとされています。農家を守ってきた農地を次の世代へ引き継ぐため、農地中間管理事業を推進し、担い手への農地の集積・集約を進めてまいります。

令和4年度から、農村型地域運営組織（農村RMO事業）を活用し「地域資源の活用」「農用地の保全」「生活支援活動」を目的に、ワークシヨップやマルシェの開催と、地域における課題や意見について収集を行いました。新年度も定期的なマルシェの開催や農産加工品の試作、農用地の保全活動、「あまぎ自然と伝統文化体験館」内の直売所開設に向けた農産物の集出荷システムづくり、高齢者の買い物支援等、地域の課題解決と活性化に向けて取り組んでまいります。

基幹作物でありますさとうきびは、熱帯地方での作物の光合成能

率の高い特有の反応経路をもつ植物群、いわゆるC4（シーよん）植物として地球温暖化の一因となる二酸化炭素を吸収する機能が他の植物に比べて高いと言われております。また、製糖過程においても、バガスを燃料としたバイオマス発電によつて工場の電力を賄うなど、地球温暖化防止や脱炭素に向けた取り組みの観点からも、有益な作物であります。

そのようなさとうきびでございますが、今期産は基準糖度13.7度の1トン当たりにおける生産者手取り価格が2万3千5百6円と、過去最高を2期連続で更新しております。生産量につきましても、本町で6万4千9百トン、徳之島3町では約17万3千トンと前期産とほぼ同量の見込みとなっております。

一方で、収穫面積が減少に転じ、農家の高齢化や労働力不足による適期植付け・管理作業の遅れ等による単収低下が懸念されております。さとうきび農作業受委託調整センターの機能強化やビレットプラント等の高性能農業機械の計画的導入、土壌診断の推進や堆肥投入による土づくり、可動式誘殺灯による病害虫対策等を実施し、次期増産へ繋げてまいります。

畜産につきましては、町内繁殖雌牛頭数が4千4百頭を超えまし

た。昨年は、子牛価格が落ち込んだ時期もありましたが回復の兆しが見えつつあります。しかしながら、飼料価格の高騰も重なり経営が圧迫されております。低コストで商品性の高い子牛生産体系の確立を目指し、引き続き繁殖素牛導入・自家保留促進助成事業による優良雌牛更新、また、畜産クラスター事業や町単独事業で規模拡大や省力化を図ってまいります。

新年度より、飼料畑に対する土壌改良資材助成を行い、良質粗飼料の自給率向上と経営改善を図ってまいります。また、家畜排せつ物の適正な処理・有用な有機物肥料の活用に向け、引き続き堆肥舎等整備事業を行うてまいります。

ばれいしょにつきましては、徳之島地域赤土新ばれいしょ「春一番」の銘柄でかごしまブランド産地指定10周年の節目を迎え、植付け面積も増となりました。

今期産につきましては、植付けの遅れや寒波による影響で生産量が懸念されるところでございますが、定時・定量・定質の選別・出荷に地域全体で取り組み、消費者や市場からのさらなる高評価確立を目指してまいります。そのため、農業センターや関係機関による研修会の開催や営農指導による生産技術の向上、適期管理の周知、畑かん利用の推進を行うてまいりま

す。また、輸送コスト支援事業や野菜価格安定基金事業による経営面からの支援、機械導入助成やドローンによる薬剤散布助成など作業省力化支援を行ってまいります。果樹につきましては、令和4年度にマンゴー、パッションフルーツの品評会を開催しましたが、新年度はメロンも加え、技術の高位平準化を目指してまいります。

食育・地産地消につきましては、第3次食育推進計画に基づき、本町の食の魅力を再発見し、多彩な食文化と豊富な農畜産物を活かしてまいります。そのため、農業セクターにおける農業塾や技術セミナーを活かした野菜や花づくりの実践と、苗もの市の開催により家庭菜園の普及を図り、自給野菜の確保に繋げてまいります。

食育講演会や教育ファームにおける農林漁業体験の実施、親子料理教室を通じて食と農への理解を深めてまいります。学校給食における地場産物の活用や、「食育の日」である毎月19日を家庭や職場において家族や友人と一緒に食事がとれるよう推進し、「食」を通じたコミュニケーションの確保に取り組んでまいります。

土づくりにつきましては、土壤診断に基づく堆肥や緑肥等の有機物施用の推進に取り組んでまいります。

鳥獣被害対策につきましては、イノシシ等による農作物被害は減少傾向にあります。鳥獣被害対策実践事業の活用や防護柵の点検、破損箇所の補修等を引き続き進め、さらなる被害の軽減に努めてまいります。

全国的にジビエ料理が注目され、機能性も高いリュウキュウイノシシの需要は高まりつつあります。その需要に応えるため、山猪工房あまぎへのイノシシ持ち込み数の確保に努めてまいります。肉の販売に加え、加工品等にも取り組み「山猪工房あまぎ」の島内外における流通販売の確立とジビエ料理の普及に取り組んでまいります。

林業につきましては、島内産材の普及と利用促進に努めてまいります。松くい虫被害は減少しましたが、貴重な松資源保護に努めてまいります。

また、森林環境譲与税を活用し林業者育成を推進してまいります。

特用林産物の生産について、「シイタケ類栽培」の産地化に向け、普及に取り組んでまいります。

水産業につきましましては、天城町水産業振興拠点施設を活用し、地元産生鮮魚介類や水産加工品の直接販売による地産地消の推進を図ります。また、町民に広く親し

んでいただけるような施設を目指し、拠点施設の愛称募集を行います。地元水産物を中心とした「お魚祭り」を定期的に開催し、漁業者と消費者との交流の促進を図り、本町の水産物の魅力を広くアピールしていきたいと思っております。

また、町単独事業として行っております水産業活性化推進事業につきましましては、引き続き、燃料費助成や漁具及び資材購入助成を行い、漁業者の所得向上及び漁業従事者の育成に努めてまいります。

農業基盤整備につきましては、天城町畑かん営農ビジョンを基に、関係機関並びに畑かん推進員と協力をしながら、その基盤整備に取り組んでまいります。

現在進めております6地区の県営畑地帯総合整備事業により、新年度は畑かん31ha、区画整理2haの事業を実施し、徳之島ダム受益地の散水可能予定面積は、令和6年3月末時点で431ha、進捗率は33.8%となる見込みです。

また、県営畑地帯総合整備事業の清算事務未了地区につきましましては、現在33地区のうち10地区が完了しました。引き続き未了地区の清算事務に取り組んでまいります。

農道及び水路整備につきましては、農業基盤整備促進事業南部

地区において、農道430m、北部地区では道路100m、排水路90mの整備、浅間・平土野地区においては測量設計一式を進めてまいります。

また、かごしまの農業未来創造支援整備事業（松原白配田地区）においては暗渠排水溝24mの整備を行ってまいります。

南部ダム畑かん施設は、経年劣化により機能低下が生じていることから、ストックマネジメント事業を進めております。また、ほ場内の末端施設につきましましては、散水に支障をきたしていることから、令和4年度に更新事業として事業計画書を策定し、新年度は土地改良法に基づく事業申請の為の同意徴収を実施し、令和6年度の事業採択に向けて取り組んでまいります。

多面的機能支払交付金事業につきましましては、新年度も、農地・農道・水路・沈砂池等の維持管理活動や施設の長寿命化活動を実施してまいります。

地籍調査事業につきましては、34.74%の進捗率となっております。新年度は、与名間の新規・継続合わせて81haを進めてまいります。

(2) 新たな事業創出と観光産業の振興

平土野港多機能港湾新設に向け、取り組みにつきましては、1月9日に国会議員の先生や国土交通省港湾局長にご視察いただき要望を行いました。また、1月12日の県知事訪問時においても、平土野港の重要性と多機能港湾化について説明・要望を行ったところであり、先般、2月4日には3年半ぶりにクルーズ船・つぼん丸が寄港いたしました。平土野港の現状や課題、ニーズを多面的に整理しつつ、平土野港多機能港湾新設期成同盟会の皆様や町議会議員の皆様と連携し、国・県への要望活動を町民運動として積極的に取り組んでまいります。

平土野地域の活性化につきましては、地権者のご協力のもと、商店街の中の駐車場舗装整備が完了いたしました。また、商工会青年部を中心とした「わっきゃが市場」の開催や平土野アートプロジェクトの推進など、にぎわいづくりに向けた様々な動きが見られるようになってきております。新年度は、平土野アートまち歩き事業補助を実施し「アートタウン平土野」を目指した取り組みを支援してまいります。

商工業につきましては、コロナ禍で経済的に打撃を受けた町内商工業者の支援及び町民の生活支援を目的に、天城町商工業応援商品券の発行や、エネルギー及び食品価格等の物価高騰の影響を受けた全町民を対象にクーポン券発行事業を実施してまいります。

起業支援につきましては、令和4年度は1件の平土野地区起業家支援事業補助、3件のUターン起業家支援補助を実施いたしました。今後も新たな事業創出を支援してまいります。

また、町単独事業として、平成21年度から継続して行っている地元消費拡大対策としてプレミアム商品券補助事業費300万円を引き続き行い、町内における消費購買の拡大を図ります。

観光業につきましては、世界自然遺産に登録され観光客の増加が見込まれるため、観光地連携整備事業で大和城バリアフリー型バンガローを整備いたしました。町民の皆様にも、自然体験や憩いの場として活用していただきたいと思っております。今後も、環境に配慮した整備を心がけるとともに、人と自然が共生する癒しの観光地づくりを継続して進めてまいります。

横浜・八景島シーパラダイス水族館では、天城町ブースが開設されており、広くPRを行っております。

引き続き、水族館と連携し、徳之島の海や本町の魅力を発信してまいります。また、新年度は3町で徳之島の観光動画を作成し、徳之島・天城町をPRしてまいります。

令和元年から引き続き、徳之島と大阪（伊丹）を往復する臨時便が年末年始及び夏休み期間に運航しております。今後も、国・県・航空会社等への定期的な直行便就航の要請活動を継続して行っております。また、クルーズ船誘致につきましましては、世界自然遺産登録地であることを最大限に活用し、国際クルーズ船の誘致活動にも積極的に取り組み、徳之島・天城町の魅力を世界に発信してまいります。

あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業につきましては、引き続き奄美群島成長戦略推進交付金事業を活用し、年次的に整備を行ってまいります。隣接した総合運動公園や山猪工房、天城町水産業振興拠点施設とも連携し、伝統文化体験・スポーツのほか様々な場面で人と人をつなぐ機能を持たせ、異なる価値観が出会う施設を目指してまいります。

トライアスロンIN徳之島大会につきましましては、コロナ禍のなかではございましたが、昨年は3年ぶりに開催することができました。毎

回、参加者からも好評を得ており、全国的にも人気のある大会として定着しております。6月25日に開催されます第36回大会につきましても万全な大会運営に努め、名実ともに「スポーツ愛ランド徳之島」を広く島外に発信し、地域活性化へ繋げてまいります。

「燃ゆる感動かごしま国体トライアスロン競技」につきましては、松原漁港を主会場として10月8日に開催されます。再度、万全な体制を構築し、鹿児島県、競技団体並びに関係機関と連携を図りながら、国体に向けての気運醸成や各種整備等の準備を進めてまいります。また、コース沿線において「ユイの里天城花いっぱいフラワーロード運動」を展開するなど、町民一丸となつて大会の成功に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

スポーツ合宿誘致につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたこともあり、令和4年度の入人数は過去最多となりました。スポーツ合宿誘致は、経済波及効果も大きく、スポーツチームとの繋がりをさらに密にし、継続的な誘致活動を展開することで、本町の地域活性化及び交流人口の拡大に繋がりたいと考えております。

2 新しい人の流れをつくる

(1) ふるさと創生

長引くコロナ禍により、デジタル化やオンライン化が進み、地方の地理的課題が改善されつつあります。また、専門的な知識を有する民間企業からの提案も増えており、今後は官・民連携による取り組みが重要になってまいります。国が提唱する「デジタル田園都市国家構想」を踏まえ、デジタルの力を最大限活用し、引き続き本町の活性化に取り組んでまいります。

移住・定住の促進につきましては、移住コンシェルジュ（地域おこし協力隊）とSUMOKAビト（移住する方・移住された方等）によるSNS等での積極的な移住情報発信を行っております。令和4年度は、移住・定住に関する問合せ件数が132件あり、実際に本町に移住された方は9世帯16人となりました。また、お試し移住体験を活用された方は10世帯26人となっております。さらに、令和4年度から実施しております引越費用補助金につきましても、これまでに10世帯の方に活用いただいております。これからもワンストップ移住相談窓口の体制強化と移住情報

ウェブサイトを活用し、多様な移住ニーズの把握と移住希望者に寄り添った支援を行ってまいります。また、大都市圏での移住フェア等に積極的に参加しPR活動を行い、移住人口の増加に努めてまいります。

空き家対策につきましては、令和4年度は10件の空き家バンクの新規登録があり、全て契約済みとなっております。また、空き家改修費補助金は2件、お帰りがない住宅改修補助金は6件の改修を行っております。今後も空き家の有効活用を促進するとともに、町ホームページなどで広く空き家情報を提供し、定住者の増加に繋げてまいります。また、天城町空家等対策計画に基づき、空き家・廃屋などの適正管理を啓発してまいります。

ふるさと納税につきましては、令和3年度は7,843件、1億1千3百56万3千円のご寄附をいただいております。令和4年度につきましては、2月末時点で5,791件、8千2百20万7千円と、やや苦戦しております。引き続き、ウェブサイトでPRや寄附者様に選んでいただけるような商品の発掘に取り組んでまいります。また、令和4年度から開始した企業版ふるさと納税については、9件3百万円のご寄附をいただきました。これまでご寄附を頂いた皆様とのご縁を

継続していけるよう、全国へのPR活動を積極的に行ってまいります。

(2) 世界自然遺産登録地として

世界自然遺産につきましては、その価値を将来にわたって保全していくため、引き続き徳之島希少野生動物保護事業や徳之島三町ネコ対策事業を実施し、希少野生動物の保護や普及啓発に努めてまいります。また、アマミノクロウサギの生息状況の回復に伴い、交通事故が増加傾向にあることから、夜間でも視認性の高い反射材を用いたマグネット型の注意標識を製作し、設置してまいります。

さらに、世界自然遺産の島を島内外に積極的に発信していくため、国内屈指のアウトドアメーカー・モンベルとの「フレンドタウン」を活かした取り組みや世界自然遺産奄美トレイルを活用したイベント等も実施してまいります。

徳之島3町の連携した取り組みとしましては、世界自然遺産登録の効果を持続可能な普及させるため、新たに徳之島世界自然遺産推進協議会（仮称）を設立し、世界自然遺産を活かした地域振興や人材育成に取り組んでまいります。

3 健康・妊娠・子育て・教育の希望をかなえる

(1) 子どもから高齢者までみんなが健康の町

保健予防事業につきましては、引き続き乳幼児健診、特定健診、長寿健診、がん検診などの各種検診の受診率向上に努め、早期の育児支援や保健指導、疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康の保持増進と医療費の適正化にさらに取り組んでまいります。

「島外治療旅費助成」につきましては、現在利用者負担となつております医療機関の証明書に要する費用の助成や回数制限を3回から5回へ拡充し、利用者の経済的負担の軽減に努めてまいります。

国民健康保険事業につきましては、誰もが安心して医療が受けられるよう、その安定的な運営を進めてまいります。また、年々高騰し続けている医療費の抑制を図るため、個々に応じた運動の提案を実施するとともに、レセプト点検等の医療費適正化対策を推進してまいります。

子育て支援につきましては、「子育て世代包括支援センター（こそ

だてらす」を拠点とし、妊娠から子育てまで切れ目のない支援のため、妊活支援事業・ハイリスク妊産婦助成事業による旅費助成や、妊婦等保健指導・妊婦乳幼児健診・産後ケア事業・親子教室等を実施しております。新年度は、ハイリスク妊産婦助成事業における助成費の上限を引き上げ、支援の拡充を図ります。また、全ての妊婦・

子育て世帯が安心して出産子育てが出来るよう、新たに伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に「出産・子育て応援給付金」を支給します。

また、令和4年度から支給額を拡充いたしました「出産祝金支給」を継続して行うとともに、「新入学生未来づくり応援金」や「在宅育児支援金」、「児童養育助成事業」による保育料の無償化や「児童医療費助成」などを引き続き実施し、少子化対策及び子育て世帯への経済的支援や負担軽減に努めてまいります。

保育所につきましては、保育士等のオンライン研修の実施により、安心・安全で質の高い保育環境の実現に努めるとともに、引き続きふるさと納税を活用した遊具等の整備を進めてまいります。また、保育所の建替えにつきましては、現在調査中であります保護者等の

意識調査の結果等を参考にしながら、今後の建設に向けての準備を進めてまいります。

障がい者福祉につきましては、現在実施しております行政機関における就労機会の提供を継続して推進し、障がいのある方が社会活動に参加するための支援に努めてまいります。また、障がいのある方もない方も地域で共生する社会の実現を目指す次の3年間の「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」を策定してまいります。

高齢者福祉につきましては、令和4年度から実施しております「高齢者ハンドル形電動車いす購入費助成」を継続して実施するとともに「敬老祝金支給」や「緊急通報装置の設置・推進」など高齢者に寄り添った事業を展開するほか、老人クラブへの助成を引き続き行い、地域づくりや自主的な活動を支援してまいります。

介護保険事業につきましては、自立支援・介護予防・重度化防止に取り組むとともに、介護給付適正化事業に取り組む、介護保険制度の安定と持続可能な運営を推進してまいります。

地域支援事業につきましては、

高齢者が安心して自分の家で暮らし続けることの出来る社会の構築を目指してまいります。そのために、高齢者の状況を把握し、医療・介護・予防・住まい・地域の見守りや生活支援等の充実を図り、高齢者一人ひとりの生活を支える仕組みづくり、地域包括ケアシステムの構築と充実を図ってまいります。

また、児童福祉法の改正により市町村は、児童福祉と母子保健の一体的な支援体制を有する機関「子ども家庭センター」の設置に努めることが義務づけられました。令和6年4月の設置に向け準備を進めてまいります。

(2) 将来の天城町を託せる人材の教育

教育文化の町づくりにつきましては、「ユイの心」をもち、世界雄飛と鳥担う人づくり」を基本目標として、将来の天城町を託せる人材育成を引き続き推進してまいります。

学校教育につきましては、人権尊重並びにSDGsの理念を念頭に置いた教育活動を展開してまいります。また、ICT機器の積極的な活用を推進し、子どもたちの力を最大限に引き出すGIGAスクール構想の実現に向けて、タブレット

端末の効果的な活用をさらに進めてまいります。

教職員の働き方改革の推進につきましては、学習評価等に校務支援システムを活用するとともに、国が進めている「休日の部活動の段階的な地域移行」を推進してまいります。

学力向上に向けた教職員の資質向上、充実した教育活動の推進につきましては、「天城町教育推進プラン」に基づき、教職員も子どもも共に成長できるように努めてまいります。

生徒指導につきましては、心の教育相談員やスクールソーシャルワーカーの配置を継続するとともに、引き続き、臨床心理士によるスクールカウンセリングを定期的に行い、児童生徒や家庭に寄り添った支援を行ってまいります。特別支援教育につきましては、相談体制のさらなる充実に努めるとともに、B&G海洋センターでの海洋性レクリエーション活動を行うなど、引き続き学校間の交流を深めてまいります。

「われんきゃグローバルプロジェクト」につきましては、児童・生徒の基礎学力の定着及び学習意欲の向上に資するため、英検・漢検な

ど各種検定を実施するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、これに要する経費について学方向上検定補助事業を継続して実施いたします。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しております中学生を対象とした海外派遣事業につきましては、先行きが見通せないため、オンラインによる交流活動を中心とした内容といたします。一日も早く海外派遣が再開できることを念じております。

英語教育につきましては、令和4年度から3年間を英語教育強化期間として「天城町英語教育推進プラン」に基づいた取り組みを展開しております。新年度も、ALTや外国語活動指導講師の幼稚園・保育所への派遣、オンライン学習教材の活用やサマーキャンプの実施など、子ども達が今まで以上に生の英語に触れる機会を設けてまいります。

郷土教育につきましては、引き続き世界自然遺産学習「あまぎ学」を通じて、自然や文化・伝統に関心を持ち、ふるさと天城に誇りをもつ児童生徒の育成と自然環境等の世界的な「価値」に関する学びを行います。また、健康で心豊かな子どもへの育成の推進につきましては、「森と海の芸術楽校」

の体験活動や芸術とのふれあい教室を実施してまいります。さらに、山海留学制度の継続的な実施により、学校や地域の活性化に繋げてまいります。

学校給食につきましては、地場産品を積極的に活用し、地域の自然や文化、農業に関する理解を深めると共に、生産者の努力や食に対する感謝の気持ちを育んでまいります。給食センターにつきましては、新年度中に建設予定地の確保や実施設計を行い、建設に向けた準備を進めてまいります。

高等学校、短期大学、専門学校、大学等への進学希望者を対象に、「天城町育英奨学資金」や「夢と希望の上原勇一郎奨学資金」を継続して貸与してまいります。

学校施設につきましては、天城町学校施設長寿命化計画及びAMAGI・VISIONに基づき校舎・体育館・教員住宅の計画的な補修・建て替えを進めてまいります。

若い世代の発想力や行動力を活かし、活力あふれる地域社会の創出に努めるべく、令和3年度に樟南第二高等学校との包括連携協定を締結しております。これまでに、生徒の皆さんによるごみ回収ボックスや絵本の製作、平土野商店街の

町歩きと活性化に向けた検討や具体的提案などに取り組んでいたいただきました。引き続き、これらの取り組みを継続するとともに、新年度は新たに高校生版エゴツォリズム講座を実施し、若い世代の皆さんに世界自然遺産の島の魅力を感じ、島内外に発信していく機会をつくってまいります。また、島外からの樟南第二高等学校への進学ニーズに応え、本町で実り豊かな青春を過ごしていただくために、女子寮の建設を行ってまいります。

社会教育につきましては、5年ぶりとなります第2回天城町教育文化の町推進大会を開催し、学校、家庭、地域と協働し、ふるさと天城の地域活性化に努めてまいります。また、OSOS運動の推進と地域コミュニティの育成並びにユイの精神・助け合いのこころの醸成を図り、地域活性化の一助としていきたいと考えております。

「地域おこしは集落興しから」の観点で、自治公民館長研修会をより充実させ、活動の支援を行うてまいります。生涯学習講座につきましては、学びの場を提供してキャリアアップ・生きがいづくりを円れる環境を整備するとともに、青少年の健全育成や町民のコミュニティの構築等、いきいきとした生涯学習活動の推進に努めてまいります。また、新年度は大型三面鏡

を増備し、ダンスやレクリエーション・舞踊など、各種活動の活性化を図ります。

さらに、引き続き放送大学授業単位取得助成事業を行い、町民の学習意欲の向上及び経済的負担軽減を図ります。

文化芸術の取り組みにつきましては、小学生を対象とした劇団四季「こころの劇場」を4年ぶりに再開するとともに、全町民を対象とした「霧島国際音楽祭 in 天城町」を開催するなど、芸術を愛する心や豊かな情操を育んでまいります。

教科セミナーにつきましては、児童・生徒の学習意欲向上に向けた環境づくりに努め、講師及び保護者との連携を密にし、授業内容の充実、夏季・冬季セミナーの集中講義や模擬テストに力を入れ、次代を担う青少年の学力向上を支援してまいります。

自主的学び応援事業につきましては、平成30年度から今まで14名の生徒が島外の学習塾夏季スクーリングに参加いたしました。さらにその周知を図り、自らの目標達成に向けてチャレンジする生徒の育成・支援に努めてまいります。

中央女性教室・高齢者教室につきましては、様々な体験活動を通

し社会連帯意識向上に努めてまいります。また、教室を通じた仲間づくりにより孤立をなくし、一人ひとりがより豊かな人生構築をしていけるよう支援してまいります。

図書館につきましては、映画鑑賞会や読み聞かせなどを行い、学び・遊び・交流ができ、親しみの持てる図書館を目指してまいります。また、地域の方々へこれからの時代に必要な情報提供ができるよう、新年度は図書費を増額し、時代の変化に対応した本の選書・購入に努めてまいります。

社会体育につきましては、第64回大島地区大会「柔道競技」が本町にて開催予定となっております。その受入準備を進めてまいります。また、奄美大島で開催される第14回全国離島交流中学生野球大会（離島甲子園）への、徳之島3町合同チームの派遣を支援してまいります。さらに、スポーツ振興くじ助成金を活用して、天城中学校屋外夜間照明施設を2基新設し、地域住民並びに体育団体が安全かつ安心して利用して頂けるよう整備を進めてまいります。

B&G海洋センターにつきましては、新たに高校生以上を対象とした脚筋力アップ教室の開催や、高齢者を対象とした介護予防教室

等を実施するなど、健康運動指導を実践し、幅広くいきいきと活動できるセンター運営に努めてまいります。また、幼稚園や保育所と連携したスイミング教室の開催、生後6カ月から3歳児を対象にしたベビースイミングなどの各種水泳教室を実施し、プールの利用促進を図るとともに、子ども達の運動機能能力の向上や親子のふれあいの場としての環境を整備いたします。

プールにつきましては、B&G財団の修繕助成を活用し、温水化や屋根及び外壁全面改修に向けた準備を進めてまいります。

多目的艇庫につきましては、小中学生の宿泊体験学習時のプログラムの受け入れ、水上アクティビティを通じた青少年の健全育成、並びに町民の交流の場や観光拠点としての利用促進にお一層努めてまいります。

総合運動公園につきましては、多目的広場の陸上タータントラックの破損が確認されているため修繕を行い、町民の皆様はもちろん、スポーツ合宿の選手の方々安心して利用できるよう改善してまいります。

ユイの館につきましては、郷土文化保存と展示の充実、夜光貝を利用した工芸教室やSDGsに関連した講座、自然観察会、講演会

など町民誰もが参加できる学習環境の充実に努めてまいります。世界自然遺産登録により島外からの来館者が増加傾向であり、本町で体験できる自然文化を具体的に紹介、発信するなど地域文化振興に努めてまいります。

文化財につきましては、「国宝重要文化財等保存整備事業」を活用して、下原洞穴遺跡の発掘調査成果をまとめた総括報告書を作成いたします。併せて、文化庁や鹿児島県文化財課などの関係機関と連携して、下原洞穴遺跡の国史跡への指定を目指してまいります。

さらに、「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」を活用し、下原洞穴遺跡の学術的な重要性を広く発信するために、県本土において専門家を交えた下原洞穴遺跡に関するシンポジウムを開催するとともに、遺跡の内容をよりわかりやすく伝える展示資料の作成を行ってまいります。

また、西郷南洲翁上陸記念碑と石川部隊慰霊碑の周辺整備を行い、より多くの方々を訪れやすい環境に努めてまいります。

4 時代に合ったまちづくり、安心して暮らすための環境

（一）町民が安心して暮らせる環境の確保

道路の整備につきましては、国庫補助事業の前野岡前横断線及び平和東線の道路改良を継続して実施してまいります。また、各集落の要望箇所につきましては、集落環境整備事業にて対応してまいります。

地方改善施設整備事業につきましては、新年度は湾屋3号線ほか、集落内排水路の整備を進めてまいります。

道路メンテナンス事業では、浅間地区の向川2号橋の補修を行います。

舗装修繕事業につきましては、戸ノ木線、松原浅間海岸線、兼久当部線、畑尻線、当山2号線、浅間中央線、奥川線を進めます。

また、町単独事業として、名須3号線の設計、前城3号線の改築、空港バイパス線の新設を行います。

県から委託を受けております県道管理につきましては、維持補修事業及び路傍樹育成保全事業を継続して実施してまいります。

町営住宅管理につきましては、入居者の生活環境向上のため維持補修に努めてまいります。また、

住宅等ストック総合改善事業にて住戸の長寿命化を図るため、塩満団地2棟8戸について屋上防水やトイレの水洗化を含めた改修リフォームを行います。

町営住宅整備につきましては、公営住宅建設事業として名須C団地に1棟6戸を建設し、引き続き住宅不足解消に努めてまいります。

公園整備事業につきましては、高千穂公園・港公園の遊具設置が完了し、総合運動公園わんぱく広場と併せて、子ども達の笑い声により、地域が賑やかになりつつあります。新年度は、湾屋川史跡公園の遊具の設置や港公園の擁壁・園路の整備を行い、幅広い年代の方々に安心安全に利用できる憩いの場の提供に努めてまいります。

また、秋利神キャンパスパークについては、再整備の計画を策定してまいります。

県が着手しております県道83号線整備の早期完了及び県道80号線の整備につきましては、去る1月12日に議員の皆様と県知事へ要望したところであり、引き続き、粘り強く要望を続けてまいります。

防災につきましては、昨年導入した「天城町防災アプリ」を一人でも多くの方々にインストールして活用頂けるよう、周知徹底を図りま

す。それにより、「いつでも、どこにいても」情報の確認をすることができま

す。いつ、どこで発生するかわからない大規模自然災害に備え、町土の強靱化対策並びに防災・減災対策は重要な課題であります。日頃からの備えを訓練等でシミュレーションするとともに全集落の自主防災組織の強化と防災意識の向上を図り、災害に強いまちづくりを目指します。

令和3年3月に策定いたしました「天城町国土強靱化地域計画」及び「天城町地域防災計画」に基づき、令和4年度に「前野福祉館」、「西阿木名振興センター」の2ヶ所の指定避難所について、防風・防水対策・バリアフリー化など避難所機能強化を図っております。新年度は、国の令和4年度補正予算を活用し、「与名間・松原上区瀬滝」の3ヶ所の指定避難所の機能強化を図るための改修工事、そして8ヶ所の指定避難所の耐震診断調査を実施いたします。

引き続き、B&G財団の「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」を活用した重機や水上バイク、災害用ドローンの講習・研修を行い、災害時に運用できる体制構築を図ってまいります。

交通安全・防犯対策等につきましては、徳之島警察署及び徳之島

地区防犯連絡協議会や集落区長との連携により、随時危険箇所等を把握するとともに、その情報を共有し早期対応に努めてまいります。令和4年度には、総合陸運スタント前交差点と平土野ポケット公園前交差点に防犯カメラの設置を行います。新年度も2ヶ所の設置を予定しております。

また、町内交通安全支部及び交通安全母の会とともに交通ルールや交通マナーの意識向上、並びに飲酒運転根絶運動を積極的に実施し、町内交通死亡事故ゼロを目指します。

島内唯一の指定自動車教習所であり、徳之島自動車学校につきましても、少子高齢化等の影響により、その経営状況が厳しく、料金改定をせざるを得ない状況となっております。高齢者講習・認知検査・免許の新規取得等の一部助成を実施し、町民の負担軽減を図るとともに、地域の交通安全教育機関の維持を支援してまいります。

水道事業につきましては、AMAGI・VISIONに基づき、町内の水道事業基盤の強化を図るとともに、災害に強い施設を目指し老朽化施設の計画的な統合整備や更新を実施してまいります。

新年度から国の「生活基盤施設耐震化等交付金事業」を活用し、松原地区の老朽化した導水管、配

水管、浄水場施設を年次的に更新してまいります。また、漏水調査対策として「過疎地域持続的発展支援交付金事業」を活用して、デジタル技術衛星画像解析による漏水調査を実施し、漏水箇所を効率的かつ迅速に特定し、その修繕に努めてまいります。

水質管理につきましては、町民が「いつでも安心して飲める、安全で信頼される水道」を目指し水道水の安定供給に努めてまいります。

公衆衛生につきましては、引き続き生活排水対策として合併処理浄化槽設置整備事業を推進してまいります。現在、本町においては、合併処理浄化槽設置率が52%となっており、世界自然遺産登録に伴う環境対策及び環境保全の重要性も増しつつあることから、今後より一層の設置率向上に努めてまいります。

廃棄物対策としましては、引き続き生ごみ処理機購入費助成事業の実施と併せて、新たにコンポストの購入費助成事業を導入することにより、ごみの減量化・資源化を推進してまいります。また、不法投棄防止パトロールや海岸漂着物・軽石の回収を引き続き行い、世界自然遺産の島に相応しい町の景観及び自然環境の保全に努めてまいります。

徳之島愛ランドクリーンセンター

新設につきましては、本町での建設が決定しております。新設に向けて、鋭意準備を進めてまいります。

(2) デジタル化の推進

時代の変化に対応するため、国のデジタル田園都市国家構想交付金を積極的に活用し、デジタルデバイス（高齢者等のデジタル弱者とのデジタル格差）の解消に努め、地域のデジタル化を進めてまいります。

町民の皆様が役場まで足を運ばなくても、全国のコンビニ等で住民票や課税証明書・所得証明書の交付を受けられるようにいたします。

また、高齢者及び児童・生徒の見守りや交通安全など防犯のため「地域の安全・安心向上に向けた見守りサービス導入事業」を実施し、年次的に町内各所に見守りカメラを設置いたします。

さらに、政府が創設した10月の第1日曜・月曜「デジタルの日」・「デジタル月間」に合わせ、本町においても「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」の実現に向け、町民の皆様がデジタル技術やサービスを身近に感じられるイベントを開催いたします。

デジタル社会のパスポートともいわれるマイナンバーカードにつきましては、現在の本町取得率は、全国取得率と同水準の58.5%と

なっております。町民の皆様には、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今後も国のデジタル化推進という大きな流れの中で、行政サービスの効率化と連動させた健康保険証との紐づけなど、各種手続きの簡素化や利便性向上には欠かせないものとなっております。ことから、引き続き出張受付・休日受付・夜間受付等の強化を図り、取得率の向上に努めてまいります。

(3) 脱炭素社会の形成

地球温暖化や気候変動は、人類共通の喫緊の課題となっております。国においては、2050年までに温室効果ガスを全体としてゼロを目指し、地域脱炭素ロードマップを策定するなど、脱炭素社会の形成に向けた取り組みを強化しております。本町においても、新年度は国の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用した計画づくりに着手し、再生可能エネルギーの導入の在り方や地域脱炭素の実現に向けた検討を進めてまいります。

また、引き続き集落防犯灯の設置及び既設防犯灯や公共施設のLED化を進め、消費電力の低減による脱炭素の推進、並びに集落の負担軽減を図ってまいります。

(4) 行財政改革の推進と職員の資質向上

少子高齢化・人口減少が進行している中で、複雑多様化する行政課題や町民ニーズに的確に対応できるように、第3次天城町行政改革大綱及び天城町人材育成方針に基づき、職員の資質向上や組織力の強化を図るとともに、町民との協働意識の醸成を図ってまいります。

各種職員研修を積極的に開催し、公務員倫理並びにコンプライアンス遵守を徹底してまいります。また、メンタルヘルスケアについて、講習会及び専門講師による個別相談会等を定期的に開催し、職員が働きやすい環境づくりに努めてまいります。

税務行政につきましては、安定した税収による自主財源の確保を図ることについて、町民の皆様には納税に対する深いご理解とご協力をいただいているところであります。納税者の利便性向上と国のデジタル化推進の政策を踏まえ、24時間対応のコンビニ収納やPay B（ペイビー）やPay Pay（ペイペイ）等のスマホ決済サービスに対応しております。また、税の相談に細かく対応するため、毎月1回休日納付窓口の開設なども引き続き行なってまいります。

一方、税の公平性の観点から、

納税に対するご理解が得られない一部の滞納者に対しては、法に基づき預貯金や生命保険等の財産調査及び勤務先への給与調査等を行います。さらに財産差押えなどの滞納処分を強力に実施してまいります。また、若年期からの納税意識の醸成を図るため、小中学生を対象とした税に関する作品募集や租税教育の実施、さらには町税に関する様々な広報等に積極的に取り組めます。

以上、町政運営の基本方針と施策の概要を申し上げます。今後も町民の皆様と共に働き、健全な町政運営に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



卒業式

一樟南二高一

春になり天城町にも卒業の季節がやってきました。3月1日(水)、樟南第二高等学校で第55回卒業式が行われ、新型コロナの影響が続く中での3年間を過ごした生徒たちがそれぞれの思い出を振り返りながら級友との別れを惜しみました。男子49名、女子53名、計102名の卒業生が「博文約礼」の精神を胸に、それぞれの道へ巣立っていきました。



普通科



商業科1組



商業科2組



商業科3組



工業科

～北中、天城中、西阿木名小・中～

3月14日(火)、北中学校26名、天城中学校23名、西阿木名小学校3名、西阿木名中学校4名の卒業生が旅立ちの日を迎えました。北中学校卒業生代表の芝日向さんは、学校行事や部活動での思い出を振り返り、「この仲間に出会えたことを誇りに思う。離れても絆が切れることはない」と前を向いて話しました。



北中学校



天城中学校



西阿木名小・中学校

— 生涯学習講座成果発表会 —

天城町防災センターにて令和4年度天城町生涯学習成果発表会が行われ、14団体、約140名がこれまで学んだ成果を披露しました。感染症対策として無観客で行われましたが、AYTで収録し後日放送されました。また、1階ロビーでは絵画や生花、書道など12講座の作品が展示されました。



子宝六調バンド



ザ・オールドボーイズ



結シアター手舞



仙田流



紫乃井流(小学生)



紫乃井流 紫苑会



瀬瀨レクリエーションダンス



松西レクリエーションダンス



白鷺会



レクリエーションダンス



コール天城



HULA ALOHA



DANCE GROOVE



DANCE JETs Mighty JETs



作品展示

— 大学駅伝3冠の駒澤大陸上部が来島 —

大学駅伝3冠を達成した駒澤大学陸上競技部が来島し、8年連続となる天城町合宿が行われました。1月25日(水)、徳之島空港にて歓迎セレモニーが行われ、選手、スタッフ計15名を出迎え同部の快挙を祝福しました。院田教育長は歓迎の意を表し、「2年連続3冠達成」に向け期待を述べ、大八木弘明監督は「天城町は強化のためにもものすごく良い環境。この地でしっかりと練習を積んで、しっかりと結果を出したい」と挨拶を述べました。



— ホンダ熊本硬式野球部 天城町合宿 —

2021年の都市対抗野球大会で準優勝するなど、九州を代表する社会人野球チーム「ホンダ熊本硬式野球部」が3年ぶりに来島し、2月13日から2月25日までの間、徳之島合宿を行いました。2月14日(火)、スパーク天城で歓迎セレモニーが行われ、花束や特産品などが贈られました。森田町長は「都市対抗野球、全日本選手権で頂点を目指していただきたい」と激励し、渡辺正健監督は「今シーズンに向けてたくさん良い練習をして、たくさん美味しいものを食べて良いスタートを切りたい」と意気込みを話しました。



— 野球教室 開催! —

合宿最終日の2月25日(土)には、天城町総合運動公園野球場でホンダ熊本硬式野球部による野球教室が開催され、町内の小中学生約40名が参加し、守備や打撃の基礎を学びました。全員でキャッチボールを行った後、ポジションごとにノック、投球指導を受けながら選手との交流を深めました。



— 「にっぽん丸」4年ぶりの寄港 —

2月4日(土)、乗客約270名を乗せた商船三井の大型クルーズ船「にっぽん丸」(22,474トン)が平土野港へ4年ぶりに寄港しました。歓迎あいさつで森田町長は「ようやく皆様を徳之島にお迎えでき大変嬉しく思います」と歓迎し、同船ゼネラルマネージャー福元剛さんは「徳之島の自然や文化を存分に楽しみたい」と話しました。歓迎セレモニー終了後、乗客たちは景勝地巡りや闘牛、林道トレッキングなど3班に別れて島内観光を満喫。送別セレモニーでは、結シアター手舞による演舞や天城小金管バンドの演奏、天城町地域女性連絡協議会による踊りで平土野港寄港への感謝を表しました。



— 世界自然登録1周年記念シンポジウム —

2月23日(木)、伊仙町ほーらい館にて、世界自然遺産登録1周年記念シンポジウム(鹿児島県主催)が開催されました。島内外から約200名が来場し、塩田康一鹿児島県知事も参加されました。本町からは、天城小学校5年生があまぎ学(本町各学校で実施中の自然学習)で体験、学習した事をタブレットを活用して発表しました。



— 3年ぶりの開催!奄美トレイルウォーク —

2月25日(土)、世界自然遺産奄美トレイルウォークが3年ぶりに開催され、家族連れなど約40名が参加しました。役場ていだテラスで開会セレモニーが行われた後、犬の門蓋へ向けて出発。平土野商店街を通り、高釣から海沿いの雄大な景観を楽しみながら往復4.6キロのコースを歩きました。奄美トレイルは、奄美の島々を繋ぎ自然や文化に触れ合うことを目的とし選定された長距離の自然歩道で、県が2016年度から群島各島でコースを選定。天城町ではA区間「与名間・松原・浅間コース(12.6キロ)」、B区間「徳之島空港・平土野・大津川コース(7.7キロ)」、C区間「当部・三京・秋利神コース(16.3キロ)」の3つのコースが設定されています。



— 商工会青年部から本の寄贈 —

1月31日(火)、役場町長室にて天城町商工会青年部から町内の中学校3校へ図書33冊と図書カード(計6万円相当)が贈られました。図書の寄贈は昨年につき2回目で、同青年部主催のチャリティーゴルフコンペの参加者から寄附を募り図書を購入。同青年部永岡寛治部長は「天城町の未来を担う子どもたちの健全育成に繋がれば嬉しい」と話しました。



— 建設業光和会からサッカーゴールの寄贈 —

2月8日(水)、「天城町の子どもたちが元気で健やかに成長してほしい」という願いが込められ、天城町建設業光和会から南部保育所へサッカーゴールとサッカーボールが寄贈されました。同会の豊村友二会長から森田町長へ目録が手渡されました。同保育所の磯野洋子所長は「子どもたちは遊びを通して運動の楽しさや大切さを学びます。また、将来の選択肢の一つとして、良いきっかけになれば」と述べた上で「天城町からJリーグの選手が出ることを期待します」と感謝の意を表しました。



— 徳之島ライオンズクラブから図書の寄贈 —

2月17日(金)、役場町長室にて徳之島ライオンズクラブから町内小学校へ図書の贈呈式が行われ、同クラブ宮上正記会長から兼久小学校仮屋浩一校長へ図書が手渡されました。同クラブは2021年度に結成55周年を迎え、記念事業として島内小学校へ本の寄贈を企画。1校当たり5万円の予算を用意し、これまでに計623冊の本を寄贈しています。



ライオンズクラブ・・・クラブの会員の力を集結して諸般のアクティビティを実行する国際的な社会奉仕団体。LIONS「Liberty Intelligence Our Nation's Safety」(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)の頭文字を並べたもので、これがライオンズクラブのスローガンとなっている。

— ユイの心を育む「がんばり賞」表彰 —

2月22日（水）、天城町防災センターにて令和4年度第2回天城町教育文化の町推進会議が行われました。OSOS音頭斉唱、開会あいさつに続き、日常生活や教育活動の中で模範となる町民を対象に、町全体で「ユイの心」を育むことを目的とした「がんばり賞」表彰が行われました。児童生徒部門へ21組、一般部門へ5組、計26組が各種賞を受賞しました。



【がんばり賞・児童生徒部門】

○学芸賞

里山 未来（天小6年） 峰岡 朋輝（岡小5年） 浜田 隆聖（岡小6年） 嶺本 蒼空（岡小6年）
 永田 莉愛（兼小6年） 田尻 来唯亜（天中3年） 峰岡 歩嬉（北中3年） 政屋 力斗（徳高1年）

○創意・科学賞

今田 稟（天小6年）

○体育・健康・安全賞

初田 一心（天小6年） 田川 羅那（岡小6年） 豊島 愛真（与名分4年） 久保 昊大（天中3年）
 芝 日向（北中3年）

○ユイの心賞

吉原 萌希（天小6年） 上野 恵大（兼小6年） 長井 友那（西阿小6年） 櫻木 咲麗（天中3年）
 加納 心南（北中1年） 佐平 英俊（西阿中3年）
 樟南第二高校商業科・工業科地域活性化プロジェクトチーム

【がんばり賞・一般部門】

○各種団体育成賞

岡前わかば会自主サロン（岡前）

○スポーツ賞

東 誠一郎（天城）

○ユイの心賞

政所 金重（平土野） アジサイの会（兼久） 松林 清和（西阿木名）

— 故 叶福次郎さんへ「特旨叙位 従六位」 —

元天城町議会議員で、昨年12月26日にご逝去された故叶福次郎さんへ特旨叙位として従六位が贈られました。3月15日（水）、役場町長室にて伝達式が行われ、ご子息である叶貴嘉さん、叶福壮さん・ますみさん夫妻が出席し、森田町長から貴嘉さんへ位記が伝達されました。叶さんは昭和61年12月から平成22年11月までの6期24年間にわたり、町議会議員として住民福祉の向上や地域経済の振興、地域活動に大きく貢献されました。この間、議会議長も務め、高邁な政治信念を持って議会の健全な運営に努力を重ね、広く地方自治の発展に尽力され、この度の叙位の榮譽となりました。



— 「春一番」出発式 —

1月28日(土)、天城町防災センターにて徳之島地域赤土ばれいしょ「春一番」出発式とかごしまブランド産地指定10周年記念大会が開催されました。徳之島3町の生産者やJAなど関係者のほか、本土青果市場からも来賓を招き約400名が参加。黒潮太鼓による迫力ある演奏に続き、表彰伝達や来賓祝辞、情勢報告が行われました。また、「春一番」のこれまでのあゆみを回顧し、テープカットやがんばろう三唱で「出荷量1万ト、販売額20億円」突破に向け氣勢を上げました。鹿児島県農業開発総合センター野菜研究室長の池澤和広氏による「赤土新ばれいしょ『春一番』今までの10年、これからの10年、徳之島の役割とは」と題した講演に続き、峰岡歩嬉さん、朋輝さんによる島唄演奏などの余興が披露され会場は大いに盛り上がりを見せました。



— さとうきび春植え推進出発式 —

2月6日(月)、天城町糖業振興会主催のさとうきび春植え推進出発式が天城町防災センターで行われました。生産者や農協、南西糖業などの関係者併せ約50人が参加。早期植え付けによる反収向上、春植え目標面積350haの達成を目指し士気を高めました。出発式の最後には糖業振興会 永田大樹さんによる「がんばろう三唱」で締められました。



— 農業塾閉講式 —

3月16日(木)、農業センターにて令和4年度天城町農業塾閉講式が行われました。今年度の農業塾では「季節野菜の作り方」や「病虫害防除について」など計6回開催され、延べ受講者数は187名と多くの参加がありました。森田町長は受講生への労いのことばを述べつつ、「これからも安心・安全な野菜を作り、楽しい食卓を囲ってほしい」と話しました。



農業センターではゆいゆい農園の利用者を随時募集しています。「家庭菜園を始めたいけど場所がない…」「季節の野菜や花を作りたい」「趣味を増やしたい」という方にはピッタリです！

詳しくは農業センター TEL85-2214 までお問い合わせください。

#貸付面積約20平方㍍ #貸付料年間3,000円 #農具貸し出し無料！

— 人権擁護委員 委嘱状交付 —

1月20日（金）、役場町長室にて人権擁護委員の委嘱状交付式が行われ、新たに任命された島武昭さんへ森田町長から委嘱状が手渡されました。森田町長は「未来を担う子どもたちに人権の大切さを伝えていただきたい」と期待し、島さんは「委員として改めて知識を深め、弱者の力になれるよう努めたい」と決意を述べました。



— 自衛隊入隊者壮行激励会 —

3月13日（月）、役場4階ユイの里ホールにて令和4年度天城町自衛隊入隊者壮行激励会が行われました。新たに入隊が決まった樟南第二高校卒業の井手口蓮生さんとそのご家族、関係者が出席。森田町長、自衛隊鹿児島地方協力本部稲崎精一郎本部長からの激励のことばに続き、浜田靖一防衛大臣、塩田康一県知事からのビデオメッセージが送られました。井手口さんは「小さいころから自衛隊に憧れていた。日本や家族のことを守れるように頑張ります」と力強く決意を述べました。



— とちぎ国体からかごしま国体へ引き継ぎ —

令和5年3月14日（火）に栃木県いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会那須塩原市実行委員会解散総会に合わせて、次回開催地である鹿児島への引継ぎ式がWeb会議方式にて開催されました。引継ぎ式には、森田町長をはじめ、那須塩原市から競技を引き継ぐ県内3市も参加し、それぞれの開催競技や開催地（市町）の特色など紹介を行いました。森田町長は世界自然遺産登録について触れながら徳之島を紹介。かごしま国体トライアスロン競技の開催地として天城町をPRしました。



— 企業版ふるさと納税 感謝状贈呈式 —

1月31日(火)、株式会社 中西製作所様(大阪府)から本町への企業版ふるさと納税による寄附に対して感謝状贈呈式が行われ、森田町長から同社中西一真社長へ感謝状が贈られました。同社は戦後復興期にミルク給食用のアルミ食器などの調理器具を販売する事業から始まり、今日では大量調理機械を製造・販売する会社として、全国の給食センターや給食室の「設計」「施工」「開設支援」など一貫して行っております。また、2022年4月には、企業として日本初となる「社員の子ども」の学校給食費を会社が支給する制度を導入するなど、少子化対策や次世代育成といった社会的課題の解決へも積極的に取り組んでおります。



— 日本郵政株式会社 増田寛也社長 来庁 —

2月9日(木)、日本郵政株式会社 増田寛也取締役兼代表執行役社長御一行が来庁され、役場応接室にて意見交換が行われました。増田社長はこれまで岩手県知事(3期)、総務大臣、内閣府特命担当大臣などを歴任され、2020年1月に同社長に就任。日本郵政グループは「進化するぬくもり。」というキャッチコピーを掲げており、「ぬくもりとは、郵便局らしさである『身近』、『なんでも相談できる』、『やさしい』といった価値を表現している」とした上で「地域の役に立つ郵便局にしていきたい」と話しました。



— ユイの里天城「花いっぱいフラワーロード」コンクール —

ふるさと天城を「美しく・明るく・住みよくする」事を目指し、「ユイの心」を育むことを目的としたユイの里天城「花いっぱいフラワーロード」コンクールが開催されました。3月3日(金)、役場庁議室にて開かれた3月定例区長会にて森田町長から表彰集落へ表彰状が贈られました。町長賞には、季節に合った花々を植え、集落外からも観光スポットとして親しまれている西阿木名集落あぎなガーデンが受賞しました。

町長賞

西阿木名

まちかど花壇景観賞

与名間、前野、瀬滝

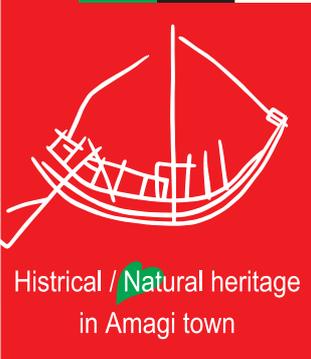
花いっぱいフラワーロード賞

松原上区、浅間

エコ花壇賞

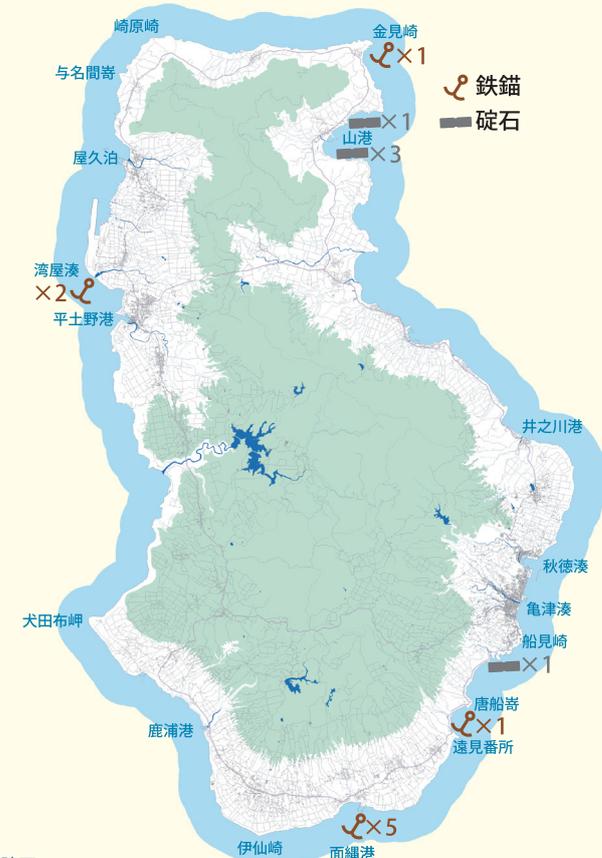
天城、平土野





水中遺跡は、縄文時代から太平洋戦争に至るまで様々な時代の遺物を含みますが、奄美群島では製品の輸出や交易、水や食料の補給などに来た船にまつわる遺物が中心となっています。江戸時代、奄美群島は道之島と呼ばれていたように、琉球をはじめ中国や朝鮮、ヨーロッパとの交易の要衝(ようしょう)でした。徳之島三町では近年、周辺海域の調査を進めていますが、なにしろ11~14世紀(平安~鎌倉時代)まで島内で生産されたカムイヤキの壺や碗は、長崎県から沖縄県の波照間島まで広く流通していたのに、どこから運び出されたのか謎なのです！調査では、船が停泊していた手がかりとなる鉄のイカリが9本、もっと昔のイカリのおもりだった碇石(いかりいし)が5本、見つかりました。特に港に適した奄美大島の龍郷町や宇検村では、陸上に引き上げられた2mを超える碇石がいくつも見つっていますが、徳之島の海底では1m前後の碇石が多いのは、サンゴ礁が多く浅い海岸に接岸するには大型の船でなく、より小さな船が適していたのかもしれませんが。宇検村にある焼内(やけうち)湾の倉木崎海底遺跡では、12世紀後半の中国産陶磁器が大量に発見されており、当時から良港として知られていたことを物語っています。

徳之島の水中遺跡



長崎県 松浦市教育委員会提供・鹿島海底遺跡の木碇と碇石



江戸時代初期の主な港湾と航路

※正保国絵図と元禄国絵図を参考に作成しています



— 農地保全にかかる美名田林道清掃作業 —

農村RMO事業を活用した、天城町地域づくり協議会の農用地保全活動の一環として、各団体の子ども達や保護者の方々が、農用地に隣接する美名田林道の清掃活動を行いました。美名田林道は、奄美トレイルコースに選定されており、アマミノクロウサギを見ることが出来るスポットの一つですので、ぜひ皆様も足をお運びください。



— 平土野商店街に駐車場用地の提供 —

この度、平土野商店街内にある福澤建次さんの所有地（代理管理人 島武昭さん）を無償提供していただき、同商店街への来客専用駐車場として整備を行いました。7台分の区画線が引かれ余裕を持った駐車スペースが確保されています。商店街にお越しの際はぜひご利用ください。



町制施行60周年記念事業 広報あまぎ縮刷版 第3・4・5巻 販売中

1. 概要

町制施行60周年記念事業として、これまでの町の歩みを後世へ残すべく「広報あまぎ縮刷版 第3・4・5巻」(B5判)を制作しました。平成3年に発刊した第1・2巻の続編として、平成3年3月号から令和3年11月号までの30年分の広報紙、3,746頁を収録しました。



2. 販売について

- (1) 販売金額 3巻セット 15,000円(税・送料込み)
- (2) 販売部数 50部

- ・島内の購入希望者へは情報対策室窓口にて直接受け渡し
- ・島外の購入希望者へは郵便局の「払込取扱票」を送付し、入金を確認でき次第宅配便にて発送

お問い合わせ 天城町役場総務課情報対策室 (AYT)
TEL 0997-85-4260



宝くじの助成金で 地域女性団体防火クラブの備品整備

財団法人 自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくりに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っております。

令和4年度一般コミュニティ助成事業として、天城町地域女性団体婦人防火クラブに「天城町地域女性団体防火クラブ法被」と「デジタルカメラ」を整備しました。



自動車税種別割は5月31日までに納めましょう！！

自動車税種別割は、毎年4月1日現在で自動車（軽自動車は除く）を所有している方に納めていただく税金（県税）です。今年は「納税通知書発送日」が4月28日（金）、「納付期限」が5月31日（水）となっています。

（県HPにも情報が掲載されていますので、ご覧ください。<https://www.pref.kagoshima.jp/ab07/kurashi-kankyo/zei/aramashi/car/car2.html>）

自動車税種別割は、インターネット、スマホ決済アプリ、クレジットカード（令和5年5月31日まで）、コンビニエンスストア、金融機関・郵便局などで納めることができます。



御不明な点がありましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ：鹿児島地域振興局自動車税課 TEL 099-261-5611
大島支庁県税課 TEL 0997-57-7225



入学・就職・転勤等による引越して、住所を異動される方は、
窓口での「**正確な住所の届出**」が必要です！

- 住民票の住所の異動届(転出届・転入届・転居届など)は、
国民健康保険及び国民年金の資格の確認や、
選挙人名簿への登録などにつながる大切な手続きです。
- 本人確認書類となる「マイナンバーカード」の「住所」等は、
最新のものにする必要があります。



(おもて面)

○なお、令和5年2月6日から、「転出届」については、
マイナンバーカードを使用して、マイナポータル等
を通じて、提出できるようになりました。

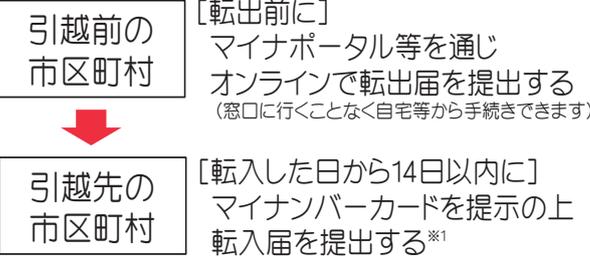
(正当な理由がなく住民票の異動の届出をしない場合、
5万円以下の過料に処されることがあります。)



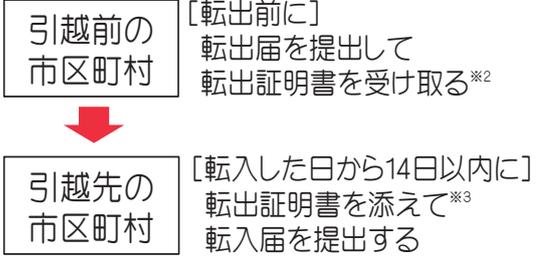
◆住民票の異動届(転出届、転入届、転居届等)の手続方法

◎他の市区町村に転出・転入する場合

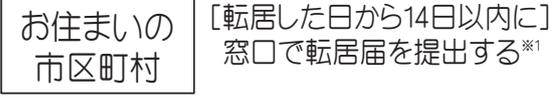
<オンラインでの届出>



<窓口での届出>



◎同一の市区町村内で転居する場合



*1 マイナポータル等を通じて、転入(転居)届の提出のために
来庁予定の連絡ができます。
*2 マイナンバーカードをお持ちの方は、転出証明書の受取りは
ありません。
*3 マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナンバーカードを
提示してください。

詳しくは、お住まいの市区町村の窓口へお問い合わせください。

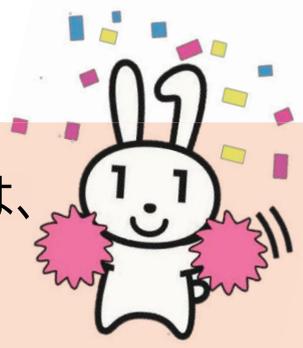




ご存じですか？

2023年2月6日スタート！

マイナンバーカードをお持ちの方は、
マイナポータルから**転出届**を
オンラインで提出できます！



いままで



引越し前後で
両方の窓口に行くのは大変…

マイナポータルを利用すれば…

これから



引越し先の
窓口だけに行けばOK！

マイナポータルへの
アクセスはこちら➡
(ご利用には別途マイナポータル
アプリのダウンロードが必要です)



デジタル庁



特別障害者手当・障害児福祉手当のお知らせ

精神又は身体に著しく重度の障害を有するために、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅の方の福祉を向上させるために支給される手当です。

ただし、福祉施設に入所している方や3ヶ月を超えて入院している方は、支給の対象外となる場合があります。

また、受給資格者、配偶者、扶養義務者の前年の所得額によっては、その年の8月から翌年の7月までを一つの期間として支給を停止する場合があります。



■特別障害者手当（20歳以上の方）：月額27,980円（令和5年4月改定）

■障害児福祉手当（20歳未満の方）：月額15,220円（令和5年4月改定）

※詳しくは下記までお問い合わせください。

◆ 問合せ先 鹿児島県徳之島事務所福祉課 TEL：0997-82-0233

法務局からのお知らせ

『**相続登記**』の申請が**義務化**されます！ ～なくそう所有者不明土地～

不動産登記関連イメージキャラクター

「トウキツネ」



令和6年4月1日から、不動産の相続登記の申請が義務化されます。相続登記がされていないことにより所有者が直ちに判明しない土地は、管理や利用が難しいため、公共事業や復旧・復興事業の妨げとなったり、隣接する土地に悪影響を及ぼしたりするなど、様々な問題が生じています。この「所有者不明土地」の問題の解消に向けて、不動産の登記に関するルールが大きく変わります。



法務省QRコード

「～預けて安心 自筆証書遺言書保管制度～」



ご自身で書いた遺言書を法務局で保管する制度です。大切な遺言書の紛失や改ざんを防止できますので、ご自身の財産をご家族へ確実に託す方法の一つとして自筆証書遺言を検討されるに当たって、ぜひ本制度をご利用ください。ご利用には事前予約及び手数料が必要です。



法務省QRコード

詳しくは法務省ホームページでご確認又はお近くの法務局にお問合せください。

問合せ先 鹿児島地方法務局奄美支局

TEL 0997-52-0376（代表）



農地法改正に伴う下限面積要件の廃止について

農業従事者の減少が加速化する中、耕作放棄地を解消し、効率的な農業の展開を支援するため、「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（令和4年法律第56号）」により農地法の一部が改正され、令和5年4月1日から施行されます。

この改正により、多様な人材の確保・育成を後押しする施策として、これまで農業委員会が農地の権利取得時に求めていた下限面積要件（50a）が撤廃されることになりました。

下限面積要件は撤廃されますが、農地の権利取得に必要なそのほかの要件（全部効率利用、農作業常時従事、地域調和等）は、従来どおりのためご注意ください。ご不明点は農業委員会事務局へお問い合わせください。



天城町農業委員会委員募集

農業委員（定数19名）を募集します。募集内容は下記のとおりです。

1. 募集期間 令和5年3月13日（月）から令和5年4月14日（金）まで
2. 委員任期 令和5年7月20日から令和8年7月19日までの3年間
3. 応募方法

募集要項及び応募様式を農業委員会事務局もしくは天城町のホームページから取得してください。

ホームページからは、【事業者の方】→【農業】→【農業委員会】でお進みください。

申込は農業委員会事務局へ持参するか、郵送（令和5年4月14日（金）必着）で受け付けます。

天城町農業委員会 TEL：0997-85-4242

農業用廃プラスチック類の適正処理について

農業用使用済みプラスチック類は、排出者である農業者自身による適正処理が義務づけられていますが、町内において、農業用廃プラ類が山中に不法投棄されるという事案が発生しました。

協議会では、年3回廃プラ回収を実施しています。持ち込む際は、水分や汚れをしっかりと落として、正しく梱包し、農業者自身が責任を持って、適正に処理して下さい。



徳之島地区農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会

お問合先：天城町役場農政課85-5096

農地からの赤土等流出防止対策

奄美群島の豊かな自然を後世に伝えていくため、赤土等を河川や海に流さない意識を持ちましょう。

作物植え付け前後に発生する畑面の裸地状態をさとうきび葉殻梱包（ハカマ）等で被覆することで、フィルター機能をもたせ、雨天や台風時の赤土流出量を軽減する事ができます。農家個々の対応・対策をよろしくお願います。

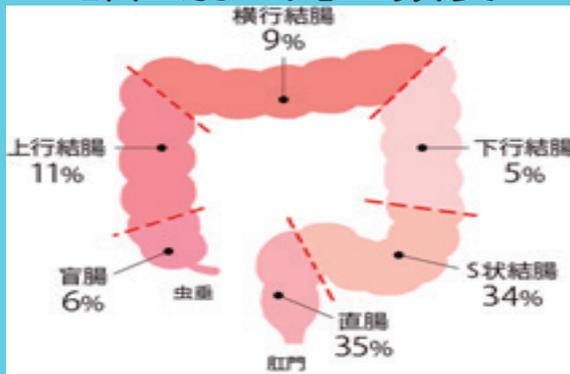
天城町農地整備課



大腸がんについて知ってほしい

大腸がんとは、大腸（結腸・直腸）にできる癌を総称したもので、大腸粘膜の細胞が変化することで生じます。

～部位別の発生頻度～



直腸・S状結腸だけで約70%を占める

大腸がんに伴う主な症状

※ある一定の大きさにならないと症状を感じない

- 血便・下血
- 便が細い
- 残便感がある
- 下痢と便秘を繰り返す
- お腹が張る・腹痛
- 固いしこりに触れる
- 貧血
- 体重減少 など

早期の場合、自覚症状が出にくい!

◆大腸検査を受けよう!

大腸がんは早期治療できれば5年生存率が90%以上と予後がいい病気です。

◆便潜血検査



1. 便を検査用スティックで採取する
2. 便を2日に分けて、計2回採取する

自覚症状のない消化管出血をみつける。(がん、ポリープからの微小な出血を検出する。)

◆大腸がんを予防する、最も確実な方法

は、下部消化管内視鏡検査を受ける

こと! 下部消化管内視鏡検査を積極的

に受けポリープ切除を行うことが、大

腸がんの予防につながる。



❁始めよう! 健康生活❁

大腸がんについて知る→大腸がん検診を受診する(1回/年:継続して)

必要があれば精密検査の受診(状態確認)早期治療を!

令和5年度の大腸がん検診は、6月と7月を予定しています



天城町子育て世代包括支援センター 出産・子育て応援事業

妊娠期から子育て期において、
子育て包括支援センターが行う寄り添い型支援と経済的支援により、安心して妊娠・出産・子育てができるようサポートします。

寄り添い型支援

- 妊娠届出時
- 妊娠8ヶ月～9ヶ月ころ
- 出生時

の計3回、保健師等が妊娠や
子育ての悩みや相談に応じ、
面談や訪問を行います。

お問い合わせ

天城町子育て世代包括支援センター
電話番号 85-4113

天城町役場けんこう増進課
電話番号 85-2236



経済的支援

支給対象者

- 令和4年4月1日以降に
妊娠・出産した方
 - 天城町に住所を有する方
 - 他の市町村で同様の給付を
受けていない方
 - 面談や訪問等を受けた方
- 出産応援給付金・・・妊婦の方
子育て応援給付金・・・養育する方

給付額 各5万円

※どちらも申請が必要です





★8020 達成★

8020運動とは、平成元年より厚生省（当時）と日本歯科医師会が提唱して開始された、満80歳で20本以上の歯を残そうという運動です。20本以上歯が残っていると何でも美味しく食べられ、活動的に過ごしていくことができる健康づくりの目標です。

祝

おめでとう！！



前田 タミ子さん (82)
浅間 残存歯 21本



田平 清二さん (80)
松原 残存歯 28本



中島 信光さん (80)
松原 残存歯 25本



義村 豊明さん (81)
三京 残存歯 28本

大事なポイントを3つご紹介！！

1. 就寝前の歯磨きは特に丁寧にいきましょう
→就寝中はだ液の分泌が少ないため、お口の中の細菌が増えます。
2. 歯ブラシは1ヶ月を目安に交換しましょう
→毛先が開いた歯ブラシの歯垢除去効果は **6割程度**とされています。
3. 歯と歯の間も清掃しましょう
→歯ブラシの届かない歯と歯の間は、デンタルフロスや歯間ブラシでの清掃が必要です。



令和4年度は
4名の方が受賞
されました♪

年に1回の特定健診♪
無料で歯科健診も
行っているのでは
非、受診しましょう



天城町保健センター



国立公園内での行為について

～国立公園内での開発行為等については、手続きが必要です～

国立公園は自然の風景地を保護し、その利用促進を図り、国民・県民の保健・教養・教化に資するとともに、生物の多様性を確保することを目的として国（環境省）の指定を受け管理されているもので、奄美群島の一部地域は、奄美群島国立公園に指定されています。

国立公園内では、優れた風景地を保護するため、自然公園法に基づき、各種開発行為が規制されています。国立公園内において、次のような開発行為等を行う場合は、事前に国や県への許可申請・届出の手続きが必要となります。

○ 手続きが必要な行為（一例）

第1種 特別地域	①工作物(建築物を含む)の新増築 ②木竹の伐採 ③鉱物や土石の採取 ④広告物の掲出	特別 保護 地区	特別地域の規制に加えて ①木竹の損傷 ②木竹の植栽 ③家畜放牧 ④野外での物の集積・貯蔵 ⑤火入れ・たき火 ⑥動植物の捕獲殺傷等 ⑦落葉・落枝の採取 など
第2種 特別地域	⑤野外での物の集積・貯蔵(土石・廃棄物等) ⑥開墾・土地の形状変更 ⑦屋根・壁面の色彩の変更 など		
第3種 特別地域	など		
普通 地域	①一定規模以上の工作物の新増築 (建築物高さ13m又は延面積1000㎡、鉄塔高さ30m、送水管長さ70mなど) ②鉱物や土石の採取 ③広告物の掲出④土地の形状変更 など	海域 公園 地区	①工作物の新増築 ②鉱物や土石の採取 ③広告物の掲出 ④海底の形状変更 ⑤物の係留(以上漁業に必要なものを除く) ⑥海面の埋立・干拓 など

○ 許可申請・届出の手続き（令和4年度から一部変更があります。）

- (1) 申請・届出の様式（令和4年度から新様式になっています。）
 - ・様式や必要な添付書類・記載要領については、環境省のHPに掲載されています。（下記URL又はQRコードからアクセスできます。）
- (2) 標準的な処理期間
 - ・申請内容や申請先により異なりますが、通常約1～3か月を必要とします。（書類に不備があった場合の補正の期間は除く）
- (3) 注意事項
 - ・自己所有地であっても、国立公園内での行為においては、事前に手続きが必要となります。自己所有地が公園区域に入っていないか、公園区域図を参考に事前によくご確認ください。公園区域に入っていた場合は、以下のお問い合わせ先への事前相談をお願いいたします。また、行為箇所の国立公園区域内外の判別ができない場合も以下のお問い合わせ先に御相談ください。
 - ・行為の種類、規模、公園の種類、地味区分の違いにより手続き等に違いがあること、また、行為の場所や内容によっては、許可ができない場合もあることから、申請・届出の前に事前相談いただくようお願いいたします。
 - ・自然公園法の改正が令和4年4月1日に行われたことに伴い、許可が必要な項目や、審査基準に変更があります
 - ・申請等の内容に応じて提出先が異なりますので、申請等に際しては以下のお問い合わせ先へご確認ください。
 - ・非常災害により国立公園内で法で定められた行為の必要性がある場合においても、基本的には許可申請又は届出の手続きが必要です。また、非常災害のために必要な応急処置としての行為を行った場合には、当該内容をその行為をした日から起算して14日以内に届け出る必要があります。

○ 違反行為について

自然公園法の規定に違反しての行為や、無許可での行為等については、罰則が設けられています（1年以下の懲役又は100万円以下の罰金等）。また、違反行為から国立公園を保護するために必要があると認めるときは、原状回復を課す場合があるため、必ず許可を得てから行為を行うようご注意ください。

※ 自然公園法の改正に伴い、従前より罰則が厳重になっています。

☆国立公園の範囲や区域内での許可申請・届出について、不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○ お問い合わせ先	環境省奄美群島国立公園管理事務所（奄美大島・喜界島・与論島所管）	電話 0997-69-2280	
	環境省奄美群島国立公園管理事務所徳之島管理官事務所（徳之島・沖永良部島所管）	電話 0997-85-2919	
	大島支庁総務企画課 商工観光係	電話 0997-57-7215	
	行為地の市町村役場		環境省国立公園関係 HPのQRコード
○ 許可申請書の提出先	環境省：行為地の所管事務所（上記参照） 県（大島支庁）：行為地の管轄市町村役場		
○ 環境省及び県のホームページ（検索方法）	・（環境省国立公園関係）環境省_奄美群島国立公園		
	URL: https://kyushu.env.go.jp/okinawa/procedure/pro_5.html		鹿児島県国立公園関係 HPのQRコード
	・（鹿児島県国立公園関係）鹿児島県庁ホームページ→暮らし・環境→自然保護→自然公園→行為許可申請書・届出書様式		
	URL: https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/sizenkouen/yousiki/index.html		



企画財政課からのお知らせ

おじいちゃん
おばあちゃんど!

「だれどこカルタ[®]」で 楽しく!うそ電話詐欺対策 してみませんか?

お孫さんと!



「だれどこカルタ」とは、うそ電話詐欺について楽しく学ぶことができるカルタゲームのスマホアプリのことです。
 少しでも家族の中で、詐欺についての会話を増やし、詐欺被害を減らしたい!!そんな思いから、私たちはこのアプリを開発しました。

完全無料で
広告もないよ!

↓↓カメラでQRコードを読み込んでください↓↓

iPhoneの方はこちら

Androidの方はこちら



製作:鹿児島大学石橋研究室 <https://aikalab.sakura.ne.jp/>



わたしたちのまち		わたしたちのまち	
(2月1日現在)		(3月1日現在)	
世帯数(戸)	3,052	世帯数(戸)	3,059
総人口(人)	5,586	総人口(人)	5,585
男	2,870	男	2,868
女	2,716	女	2,717
(1月届出分)		(2月届出分)	
出生(3)	死亡(14)	出生(2)	死亡(16)
転入(11)	転出(10)	転入(24)	転出(11)

町民の動き

お祝い	
名越 稚菜	大久 達也
平口 愛優美	木村 拓海
高橋 麻衣	里村 聖太
德之島町	浅間 三京
西阿木名	東京都
平土野	

お祝いあわせにも

氏名	保護者	住所
田中 心陽	愛浩太	松原西区
松山 聖那	穂乃香	与名間
禎 文太	祥子	兼久
中西 陽彩	美咲	平土野
友野 颯人	美穂	平土野

おためんじょう

故人	寄付者	金額
保村 健一郎	保村 伸子	5万
玉江 マサ	大和 ノリ子	2万
平野 清一郎	平野 勝宏	3万
平瀬 チエ	平瀬 穂津美	2万
松山 浩久	松山 浩幸	2万
砂盛 クニ	砂盛 弘吉	3万
浜田 宮久	浜田 昭子	5万
中原 信子	中原 安一郎	2万
東 眞	東 ヨシ子	3万
井上 ヒサ	井上 哲次	3万
叶 芳男	叶 弘子	3万
叶 福次郎	叶 すみえ	5万
松山 秋子	松山 美三郎	2万

香典返し



令和5年1月1日から令和5年2月28日までの届出分のうち承諾を得た方のみ掲載しています。

氏名	年齢	住所
保村 健一郎	(75)	浅間
松山 秋子	(81)	与名間
島田 純一	(56)	大阪府
中原 信子	(93)	天城
平瀬 チエ	(87)	大津川
叶 芳男	(89)	岡前
平野 清一郎	(95)	兼久
砂盛 クニ	(96)	大津川
喜 峯一	(79)	平土野
福原 ミツ	(98)	浅間
上田 隆三	(72)	当部
鶴 直武	(90)	兼久
東 眞	(86)	平土野
福原 義彦	(94)	浅間
岡本 治雄	(100)	西阿木名
池山 良一	(72)	与名間
雪山 弘義	(100)	天城
稲村 幸子	(90)	松原西区
春山 繁美	(76)	松原西区
元 友秀	(92)	天城
盛岡 平作	(96)	兼久

おごめいしふくす



亀山 ^{しゅうま} 守真ちゃん

守太・菜月 平土野
令和4年2月14日

これからも癒しと笑いとともに、すくすく育ってね(^o^)



富山 ^{みなき} 湊稀ちゃん

将也・いぶき 浅間
令和4年2月28日

いつも笑顔いっぱい笑わせてくれてありがとう♡
明るく思いやりのある元氣いっぱい男の子に育ちますよーに！



新田 ^{てる} 天瑠ちゃん

和輝・麗音 松原上区
令和4年3月5日

たくさん食べて、元気に大きくなってね♪



西 ^{なのか} 那乃香ちゃん

康臣・明日香 岡前
令和4年3月10日

食べるのが大好きなのかよこれからもすくすく育ってね！



元岡 ^{しゅんせい} 駿晴ちゃん

駿太・美鈴 兼久
令和4年3月23日

ネネに負けず強く逞しくなってね！！



福田 ^{いっしん} 一心ちゃん

光宏・綾香 松原上区
令和4年3月27日

皆に愛される、強くて優しい男になってね☆

まちのアイドル

ご掲載希望の方は右記までご連絡ください。 ☎85-4260



日本郵政増田社長との写真記事20P

- | | |
|---|--|
| <p>31火 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式
町内中学校学校図書寄贈 贈呈式「チャリティゴルフコンペ・チャリティー募金」(商工会青年部)</p> <p>28土 赤土ばれいしょ「春一番」出発式及びかごしまブランド産地指定10周年記念大会</p> <p>27金 駒澤大学陸上部監督・選手一行来庁
ダイス視察(神奈川)</p> <p>25水 奄美群島「徳之島の海」八景島シーパラ</p> <p>24火 第15回B&G全国サミット大会(東京)</p> <p>22日 奄美海運(株)顧問及び社長来庁
徳之島建設業協会安全祈願祭・労働災害防止大会(徳之島町)</p> <p>21土 鹿児島県PTA研究大会(天城町大会)</p> <p>22日 ゆめ・ときめきねりん芸能・レク大会(天城町)</p> <p>20金 世界自然遺産5地域会議(屋久島)</p> <p>18水 奄美海運(株)顧問及び社長来庁
人権擁護委員候補状伝達式
徳之島建設業協会安全祈願祭・労働災害防止大会(徳之島町)</p> <p>14土 わっかが市場
世界自然遺産5地域会議(屋久島)</p> <p>13金 町村長会研修会及び離島緊急医療現況報告会・意見交換会(鹿児島市)</p> <p>12木 県庁用務(鹿児島市)</p> <p>9月 国土交通省港湾局長他来島
(平土野港視察)</p> <p>8日 徳之島中央畜産市場初セリ市
新春書き初め大会</p> <p>5木 天城町消防団出初式
定例区長会</p> <p>4水 職員昇給辞令交付式
令和5年仕事始め式</p> <p>2月 令和5年二十歳のつどい
徳之島全島一決定戦・ミニ軽量級優勝旗争奪戦闘牛大会(伊仙町)</p> <p>3火 徳之島全島一決定戦・ミニ軽量級優勝旗争奪戦闘牛大会(伊仙町)</p> <p>2月 令和5年二十歳のつどい
徳之島全島一決定戦・ミニ軽量級優勝旗争奪戦闘牛大会(伊仙町)</p> | <p>1水 職員全体朝礼
赤土ばれいしょ「春一番」トップセールス(1日~3日)(名古屋・東京)</p> <p>4土 商船三井客船(株)にっぽん丸寄港(天城町)</p> <p>6月 令和5年春植え推進出発式
(防災センター)</p> <p>7火 奄美パーク館長来庁
ゆたかなふるさと寄附金運営協議会
徳之島用水土地改良区理事會
徳之島愛ランドゆくい堂慰霊祭(徳之島町)</p> <p>8水 南部保育所サッカークラブ等寄贈贈呈式(天城町建設業光和会)</p> <p>9木 財務省九州財務局鹿児島財務事務所長来庁
天城町教育文化の町推進本部会</p> <p>10金 日本郵政増田寛也代表取締役兼代表執行役社長一行来庁
市町村長研修会等他会議(鹿児島市)</p> <p>12日 下原洞穴遺跡シンポジウム
(防災センター)</p> <p>13月 徳之島三カ町協議会議員大会(徳之島町)</p> <p>14火 ホンダ熊本硬式野球部徳之島合宿特産品贈呈式
大島支庁管内市町村建築住宅行政連絡協議会(伊仙町)</p> <p>15水 徳之島愛ランド広域連合管理者会議(伊仙町)</p> <p>地 鹿兒島ユナイテッドFC応援リーダー・域連携部長来庁
徳之島地区消防組合臨時議会議(徳之島町)</p> <p>16木 天城町清掃審議会委員状交付
食肉センター畜視察(徳之島町)</p> <p>17金 天城町行政改革推進本部会議
小学校・分校図書寄贈贈呈式(徳之島ライオンズクラブ)</p> <p>19日 専修大学陸上部歓迎セレモニー
(徳之島空港)</p> <p>22水 天城町小災害に対する火災見舞金交付(大津川)</p> <p>23木 天城町教育文化の町推進会議
(防災センター)</p> <p>24金 世界自然遺産登録一周年記念シンポジウム(伊仙町)</p> <p>25土 茨城県・境まちづくり公社との意見交換会
徳之島の観光に関する意見交換会(徳之島町)</p> <p>27月 世界自然遺産トレイルウォーク(役場、犬の門蓋)</p> <p>28火 天城町未収金徴収特別対策協議会
天城町福祉有償運送等運営協議会
徳之島愛ランド広域事務組合清掃審議会委員状交付(伊仙町)</p> |
|---|--|

町政の動き

令和5年1月 令和5年2月